

## 「響け！名東のうた“わがまち名東”フェスティバル」を取材しました！

「チーム名東」は、2008年8月1日（金）に名東小劇場で行われた「響け！名東のうた“わがまち名東”フェスティバル」を取材しました。取材者は椋山女学園大学教育学部1年の辻由佳と恒川典子です。それではフェスティバルの様子をご紹介します！



このフェスティバルは、昨年度、名東のうたとして作成された「わがまち名東」を区民のみなさんに知ってもらうため、主に名東区で活動している8つの市民団体が集まり、それぞれがコーラスや楽器を用いて「わがまち名東」を演奏するとともに、日ごろ練習している自由曲を披露するというものです。会場には猛暑のなか250人程が集まり大盛況。出演されたみなさんは、どれもバリエーション豊かな素敵な演奏を披露してくださいました。2番目に登場した「藤が丘コーラス」の神田さんは、輝く笑顔で舞台裏に戻ってきて「上手く歌えました！」と満足そう。そして「リズムの難しい曲ですが、歌詞もよく、名東区をアピールするにはピッタリの曲ですね。『わがまち名東』をもっと知ってもらうためには、歌う機会をもっと増やすことが大事だと思います。名東区の小学校で子どもたちが授業で歌ったらどうでしょうか。子どもたちが元気よく歌えばどんどん広まっていくような気がします！子どもが家で口ずさめば、おうちの方々も興味を示してくれるでしょう。そのようにして、この歌が広まっていくのならよいなと思います」というお話を聞かせてくださいました。またこの企画の運営にずっと携わってこられた、名東文化小劇場の職員の杉浦さんも、「第1回目ということで不安もありましたが、こんなにたくさんの人たちに参加していただけたとは思っていませんでしたので、とてもうれしかったです。いろんな演奏形態で『わがまち名東』を発信でき、本当によかったと思います」と明るい表情でお話されていました。



これからも、わたしたち「チーム名東」は名東区内で行われる素敵な催しに参加し、出演者や主催者の方の生の声を取材して、みなさまにお届けしようと思っています。